

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で発行しました。

● 車いす

病気やケガのため、一時的に車いすが必要な方に3か月間貸し出しをしています。ただし、一度だけ3か月の延長ができ、最長6か月間の貸し出しが可能です。

● 行事用機材

善意銀行では無料でこんな貸し出しをしています

地域や学校、施設等の交流事業でご使用ください。区内行事の貸し出し予約は、使用日の2か月前、区外行事への貸し出し予約は1か月前より受付しています。

自走用 介助用

かき氷機 綿菓子機

餅切り機 ポップコーン機

上記貸出事業の詳細は、☎579-2311 内線439・441まで

絵本を通じた子育て支援に取り組んでいます

- 長田中央市場内に『絵本こうかん市場』ができました!!
- ① 読まなくなった絵本を、持っていきます。
 - ② 絵本を選びます。
 - ③ 気に入った絵本を受け取ります。
- お持ちいただいた絵本と同じ数の絵本をおよそ1000冊の絵本の中から選び持ち帰ることができます。
(絵本は状態の良いものをお持ちください)
※長田中央市場と特定非営利活動法人 輝いけだに協力いただいています



● 善意の輪 数珠つなぎ

● 兵庫県立長田高等学校PTA

今回の数珠つなぎは、「兵庫県立長田高等学校PTA」をご紹介します。

「長田の地域福祉のために」と、バザー収益金の一部を平成5年より長田区善意銀行にご寄付いただいています。

長田高校では、毎年5月に学園祭が開かれます。会場の一角に、かわいい手芸品が並ぶお店「MAMAの店」があります。PTA厚生委員会の皆さんが運営するショップです。

この手芸品はすべてPTAの皆さんの手づくり。学園祭に向けて毎月集まり、時には家に持ち帰って、一年かけて作られます。

このように「MAMAの店」のスタッフの温かい思いやりの心がいっぱい詰まったご寄付をいただいています。

また、長田高校では年に2回、学生、保護者で集めたタオル「雑巾」「端ぎれ」を預託され、区内の福祉施設、障害者団体、病院などへ払い出されています。「タオル」「雑巾」「端ぎれ」が人から人へと手渡され、必要とされている方々の元へと旅していく、善意の「パトリンレー」。

善意銀行は、その「パトリンレー」を絶やさぬよう、皆様とのつながりを今後も大切にしていきたいと考えています。

【長田区善意銀行にご寄付いただきましたありがとうございます】

(平成19年9月～平成20年8月)

粟田ヨシ子・井関良美・井村和廣・岡本富美子・小椋八重・辛島茂子・中村通宏・西浜好晃・平野利枝・母里賢雄(株)青山・池田サークル・音楽のまち長田推進委員会・給食ボランティア会・神戸市少年団野球リーグ長田地区委員会・神戸市生活指導研究会・コープ丸山「どんぐり」・三和エンジニアリング(株)・生活協同組合コープこうべ長田コープ委員会・でんぎのマツナガ・中川衣裳店・長田区民まちづくり会議・長田神社・長田で働く障害者を支える会・長田高等学校PTA・長田神社・日本ケミカルシューズ工業組合青年部会・ピラレ新長田店舗会・兵庫弥生美容室 婦人大学長田分校平成元年3月修了生(株)マルハン・楠宮前写真場・美和インターナショナル・匿名 (順不同、敬称略)

子どもと一緒に 絵本の世界へ!

● 絵本が大好き

言葉を話さない赤ちゃんだって絵本は大好き。「バナナ、はいどうぞ」と絵本を見ながら言葉を添えると、手を伸ばし、しぐさをまねます。「いぬ」の絵を赤ちゃんが指させば「わんわんね」とおとなが応答します。子どもは、お母さんやお父さんが自分に語りかけてくれる言葉が好きです。自分の気持ちを受け止めてもらえることが嬉しいのです。

● いっしょが楽しい

絵本を丸ごと一冊、最後まで耳を傾けるようになるのは、2歳以降。まずは、子どもの興味をひきそなう絵本を選び、ひざに乗せて、いっしょに絵本を見る、それだけのです。「いっしょ」というパスポートを持って、絵本の旅に出発です。

● 読んでもらうのが嬉しい

子どもを本好きにしたいなら、まず絵本を読んであげること。それ以上に良い方法はありません。大好きなお母さんやお父さんを、誰にも邪魔されず独り占めにできる幸せな時間。温かい体をびったり寄せて、絵本の話に目を丸くしたり、笑ったり・大人にとってもこんな心地よいことはめったにありません。読もう!と決めたら、深呼吸ゆったりとした気持ちで、心をこめて読んでください。絵本の中には、子どもにとってドキドキする冒険や楽しい出来事がいっぱい詰まっています。私たちがページを開くのを待っています。

● 幸せな思い出は絵本から

「これよんで!」と絵本を持ってくるのも、一生のうちほんの短い間だけ。子育て真最中のお母さんやお父さんは、心忙しくて、日頃は、十分かわれないかもしれませんが、だからこそ、短い時間であっても、「親子で絵本を楽しむ時間」を大切に味わってみましょう。

神戸常盤大学 短期大学部 幼児教育学科 上月素子

「芝田カナエ基金より」

芝田カナエ基金では、たくさんの方々に、絵本に触れ合ってもらいたくため、また、子どもたちの健やかな成長を願って区内10ヶ所の児童館に対し「絵本」を購入しました。

絵本に乳幼児期から慣れ親しむことが大切だと言われています。絵本を子どもと一緒に読んで、子どもにも「読み聞かせ」をしたりすることで、親子の触れ合いの時間を作ることができます。それと同時に、絵本は子どもの興味や関心を引き出し、豊かな心を育む身近なツールとなります。新しい絵本が増えた児童館に寄って、「絵本」を手にとってみてください。そして、絵本を楽しんでください。

地域の絆を結ぶ「お餅つき」

長田区内を年末近くに歩いていると、あちこちで「お餅つき大会」のお誘いのポスターやちらしが目に入ります。それも一ヶ所ではなく、あちらでもこちらでも!!
どの集まりも日本の昔懐かしい行事を取り入れることで、地域のつながりを大切に!世代間交流を!という目的で開催されていることがよくわかります。



「おいしいね〜」笑顔がいっぱい 「よっこらしよ」 みんなで協力



池田児童館が中心となりあんしんすこやかセンター、地域の方々が一丸となって取り組んだ池田地域での「もちつき大会」をご紹介します。
池田児童館に通う親子がサンタの衣装でお遊戯することから始まり、グループに分かれてのゲーム大会、その後、地域の方々みんなで協力しあってお餅つきをしました。核家族化、少子高齢化が進む中、ご近所に住みながらも顔を合わせたこともない方々が、同じひとときを持つことで、笑いが生まれ、地域の絆が結ばれていくきっかけになったことでしょう。

このような行事を重ねるうちに、児童館には、子どもたちだけでなく、高齢者や父母世代の人たちが集まってきて、地域の「ふれあいの場」となっています。
地域の方からは、「子どもたちと顔見知りになるにつれ、その大きな声から元気をももらっていますよ!」と、ことばが返ってきます。
これからも児童館の世代間交流に注目です。
(今回は、大角館長にお話を伺いました。)



ずいが割り



壁飾り作り

この児童館は、行事を開く時には、地域団体の皆さん、住民の方々、ボランティア等との連携に力をいれています。「すいか割り」もそのひとつです。あんしんすこやかセンターや、地域の幅広い年齢層の方々から企画から参加して、すっかり定着しています。また、児童館の近くに住む高齢者と子どもたちが一緒に、季節ごとに児童館の壁飾りを作っています。折り紙を教えるもったり、色を塗ったりと笑顔があふれます。

あそびにおいでよ! 児童館
—— 細田児童館 ——



赤い羽根共同募金

今年も10月1日から始まる『赤い羽根共同募金運動』にご協力をお願いします

★高齢者のために

★障害児・者のために

★福祉教育・啓発ボランティア活動支援に

★県下民間福祉施設配分ほか

★児童・青少年のために

皆様から寄せられたあたたかい募金は、長田の福祉に、こんなに役立っています。これからも「赤い羽根」にご協力をお願いします。

平成19年度の配分

60万5千円

54万5千円

235万1千円

43万円

361万2千円

まちがい探し 5つあるよ!

11月16日(日)新長田駅前広場にて 一七市拡大版開催!!



小規模作業所の新しい商品も紹介されます。



「震災のとき、みんなで助けあつた心を忘れずに」をスローガンに障害者の小規模作業所を中心に各種団体が企画し開催する一七市拡大版を「赤い羽根共同募金」は応援しています。

5つのまちが【答え】 ●右下の星がボールに ●女の子のソックスの色 ●男子の持つ募金箱の募金の大きさ ●女の子の数 ●希望の羽の長さ

